

## 金融教育カリキュラム

### (1) 金融教育とは

お金や金融の様々な働きを理解し、それを通じて自分の暮らしや社会について深く考え、自分の生き方や価値観を磨きながら、より豊かな生活やよりよい社会づくりに向けて、主体的に行動できる態度を養う教育である。

### (2) 金融教育における4分野

#### A 生活設計・家計管理に関する分野

- ・ものやお金には限りがあることを理解し、大切にすることを身に付ける
- ・限られた予算の下で、資金を管理したり意思決定したりしながら、よりよい生活を築こうとする
- ・生活設計の必要性を理解し、計画的にお金を使う態度を身に付ける

#### B 金融や経済の仕組みに関する分野

- ・お金の流れや働きについて理解する
- ・お金の流れにおける企業、政府等の役割について理解する

#### C 消費生活・金融トラブル防止に関する分野

- ・自立した消費者として行動するための知識と態度を身に付ける
- ・消費生活に関する情報を収集し適切に活用するための知識と技能を身に付ける

#### D キャリア教育に関する分野

- ・勤労の意義とお金の価値を理解する
- ・付加価値の創造が経済社会発展の原動力であるため、付加価値を生み出すために人々が努力していることを理解する
- ・より良い社会を築くために人と協力しながら自分にできることを考え、実行する態度を養う

(3) 各学年の分野ごとの目標 ○目標 【 】教科 『 』単元名 ▶内容

学年	A生活設計・家計管理に関する分野（お小遣い、貯蓄）	B金融や経済の仕組みに関する分野	C消費生活・金融トラブル防止に関する分野	Dキャリア教育に関する分野
1 2	○ものやお金の価値を知り、大切にしようとする【道徳】 ☞指導案① 『ものやおかねをたいせつに』（光村図書） ▶物（上靴袋）に込められた思い ▶身の回りの物やお金の大切さ			○家の手伝いをする中で役立つ喜びを感じる【生活科・道徳】 『わたしにできること』（道徳：光村図書） ▶家族の一員として自分にできること 『ひろがれ えがお』（生活科：啓林館） ▶家族のお仕事 ▶家族のために自分にできること ○働く人々の工夫や努力、素晴らしさに気付く【生活科】 『町のすてき つかえたい』（啓林館）☞指導案② ▶町の人の願い ▶町の人の工夫 ▶町のおすすめ
3	○ものやお金には限りがあることやお金の大切さを理解する【社会科】 『はたらく人とわたしたちの暮らし』（東京書籍） ▶消費者の願い ▶買い物をする店の選び方や買い物の工夫	○消費者がものの値段を一つの目安として購入することを踏まえ、販売の仕事をする人は値段の付け方を工夫していることを理解する【社会科】 『はたらく人とわたしたちの暮らし』（東京書籍） ▶スーパーマーケットの売り場で見られる工夫 ▶生産や値段に関わる仕事とわたしたちの生活のつながり		○お店の人や働く人の願いを知り、様々な苦勞や工夫をしていることに気付く【社会科】 『はたらく人とわたしたちの暮らし』（東京書籍） ▶スーパーマーケットの売り場で見られる工夫 ▶販売や生産に関わる人の思いと工夫や努力
4			○安全や環境に配慮した消費生活の大切さに気付く【道徳】 ☞指導案③ 『インターネットの落としあな』（光村図書） ▶インターネットショッピングの利便性 ▶インターネットショッピングの危険性	
5	○ものやお金には限りがあることを理解し、工夫した買い物の仕方やお金のよりよい使い方を考える【家庭科】 ☞指導案④ 『生活を支えるお金と物』（開隆堂） ▶買い物をする前に考えておくこと ▶上手な買い物の仕方の工夫	○農業や工業で働く人々の工夫や努力について、価格や費用を含めて理解する【社会科】 『わたしたちの生活と食料生産』（東京書籍） 『わたしたちの生活と工業生産』（東京書籍） ▶食料や工業生産に従事している人々の工夫や努力 ▶生産地と消費地を結ぶ運輸 ▶生産、輸送、販売などの活動に対する費用発生 ▶農業や工業と国民生活のつながり ○販売の仕事では情報を活かして商品を運んでいることを理解する【社会科】 『情報化した社会と産業の発展』（東京書籍） ▶電子マネーやポイントカードの利用のされ方	○安全や環境に配慮した消費生活の大切さを理解し、もの選び方や買い方を考える【家庭科】 『生活を支えるお金と物』（開隆堂） ▶買い物の仕組み ▶商品についている表示やマーク ▶環境に配慮した買い物の仕方 ○情報を適切に活用し、正しく選択する力を身に付ける【社会科】 『情報化した社会と産業の発展』（東京書籍） ▶各メディアの特徴 ▶メディアにおける情報の収集や選別の工夫 ▶情報被害の問題	○産業に従事する人々は、工夫や努力をしてよりよい製品を生み出していることを理解する【社会科】 『わたしたちの生活と食料生産』（東京書籍） 『わたしたちの生活と工業生産』（東京書籍） ▶食料生産や工業生産に従事している人々の思いと工夫や努力
6		○税金の主な種類とその意義やしぐみについて理解する【社会科】 『わたしたちの生活と政治』（東京書籍） ▶税金の集められ方 ▶税金の使われ方 ▶税金の意義と生活とのつながり		○自らの夢を描き、実現に向けて努力する態度を身に付ける【道徳】 『夢に向かって』『目標をもってやりぬく』（光村図書） ▶夢や目標をもち続けることの大切さ ▶夢や目標を実現するために必要なこと ○実社会の様々な分野で働く人々が自分たちの生活に重要な役割を果たしていることを社会の一員として考え、協力しようとする気持ちをもつ【社会科】 『わたしたちの生活と政治』（東京書籍） ▶福祉の役割や復興に向けた市民の取り組み ▶まちづくりに向けた人々の思い ○地域や社会のための活動の存在や内容を知り、または体験することを通じてその意義に気付く【家庭科】☞指導案⑤ 『共に生きる地域での生活』（開隆堂） ▶地域と自分の生活の関わり ▶地域の人と関わるために自分にできること
全学年	○自分のタブレットにチャージしたお金を計画的に使う【特活】	○お客さんの需要を考えた商品やサービスを考え、クラウドファンディングを通して資金を得るといった金融のしくみや流れを理解する【特活】	○安全や環境への配慮などお店側の工夫を理解してお金を使うお店を決めたり、アンケートへの回答をしようとしたりする【特活】	○お客さんに喜んでもらえるように工夫や努力をすることの大切さややりがいを感じることが出来る【特活】

# 「ものやおかねをたいせつに」

## 1. 教材について

### 使用教材

- ・ 光文書院 『しょうがく どうとく』1年  
「うわばきぶくろ」

本教材は、主人公が幼稚園の頃から使っている上履き袋に対する思いを通して、ねらいにせまるものである。主人公のはるおは幼稚園の時に母親に作ってもらった上履き袋を1年生になっても使っている。その上履き袋は、はるおの母親が仕事をしていて忙しいにも関わらず一生懸命縫ってくれたものであり、はるおのお気に入りであった。1年生になった時、母親から好きな布で新しく作ろうかと言われ、はるおは新しい上履き袋を作ってもらうか迷う気持ちが生まれるが、今使っている上履き袋はまだ使えるため、新しい物を作って

もらうのではなく、今使っている物を大切に長く使おうという気持ちになるという内容の教材である。

母親から新しい上履き袋を作ろうかと言われた時にはるおの気持ちの迷いを考えることを通して、今自分が使っている物に込められた思いに気付くことができる。それらを通して、自分が使っている物は家の人が自分のために一生懸命用意してくれた物であり、まだ使える物は大切に長く使おうとする道徳的実践意欲を育てるのにふさわしい教材である。

## 2. 金融教育の系統性

### A 生活設計・家計管理に関する分野

- ・ ものやお金には限りがあることを理解し、大切にすることを身に付ける
- ・ 限られた予算の下で、資金を管理したり意思決定したりしながら、よりよい生活を築こうとする
- ・ 生活設計の必要性を理解し、計画的にお金を使う態度を身に付ける

ものやお金の価値を知り、大切にしようとする（1年生）

- 『ものやおかねをたいせつに』【道徳】  
▶物（上靴袋）に込められた思い  
▶身の回りの物やお金の大切さ

ものやお金には限りがあることやお金の大切さを理解する（3年生）

- 『はたらく人とわたしたちのくらし』【社会科】  
▶消費者の願い  
▶買い物をする店の選び方や買い物の工夫

ものやお金には限りがあることを理解し、工夫した買い物の仕方やお金のよりよい使い方を考える（5年生）

- 『生活を支えるお金と物』【家庭科】  
▶買い物をする前に考えておくこと  
▶上手な買い物の仕方の工夫

自分のタブレットにチャージしたお金を計画的に使おうとする（全学年）

『附小マーケット』【特活】

### 3. 単元の展開（全●時間）

※道徳は一年間を通した単元で実施しているため、省略。

### 4. 本時の展開

	学習活動 (○主な発問と・予想される児童の姿)	◆金融教育の視点	・指導上の留意点 ◎評価
導入	<p>1. 本時の学習のめあてをつかむ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○自分が大切にしている物がありますか</p> </div> <p>・家の人に買ってもらったぬいぐるみ。</p>	◆自分が大切にしているものは、自分のためにお金を使って買ってくれたものであったり、思いがこもっていたりするものであるということをとらえる。	・児童にとって身近な大切なものについて尋ね、本時の学習のめあて（ものをたいせつにすることについて かんがえよう）を確認する。
展開	<p>2. 資料「うわばきふくろ」を読む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はるおとけんじが出てきたよ。</li> <li>・はるおのおかあさんも出てきたよ。</li> <li>・はるおは 1 年生になっても幼稚園の頃からの上履き袋を使っているよ。</li> <li>・はるおの上履き袋はお母さんの手作りだよ。</li> <li>・お母さんは仕事で忙しいけれど、はるおのために一生懸命上履き袋を縫ってくれたよ。</li> </ul>	◆子どものために親が一生懸命用意してくれたものであるということをとらえる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料「うわばきふくろ」に出てくる登場人物や内容をつかむことができるよう、教材を範読する。</li> <li>・はるおや母親の様子を想像し、はるおの上履き袋とはどのようなものかをとらえることができるよう挿絵やキーワード等を提示しながら確認する場を設ける。</li> </ul>

<p>展開</p>	<p>3. 上履き袋に込められた思いを考 える</p> <p>○お母さんから新しい上履き袋を 作ろうかと言われたとき、はるお はなぜ「どうしようかな」と迷っ たのかな</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい上履き袋が欲しいと思った から。</li> <li>・好きな柄の上履き袋を作ろうかと 言われて、嬉しかったから。</li> <li>・でも、今使っている上履き袋はま だ使えるから勿体無いと思った。</li> <li>・上履き袋はせっかくお母さんが作 ってくれた物だから。</li> </ul> <p>○はるおはなぜ「できるだけなが くつかうんだ」と思ったのかな</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さんが忙しい中一生懸命作っ てくれた上履き袋だから。</li> <li>・まだ使えるから勿体無い。</li> <li>・お母さんの自分のために作ってく れた物を大切にしようと思った から。</li> </ul>	<p>◆自分の置かれた状況を客観的 に把握し、節度をもって節制 を心掛けることの大切さに気 付かせる。</p> <p>◆物には使う人のことを考えた 思いが込められているため、 大切にしようとするだけで、 自分だけでなく思いを込めた 人も大切にすることにつなが ることに気付かせる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はるおの迷いを考 えることができる よう、1年生になっ たときの周囲の様 子や新しい物を用 意してもらった時 の気持ちを想起さ せる。</li> <li>・仕事で忙しいお母 さんがはるおのた めに一生懸命縫っ て手作りしてくれ た上履き袋を大切 にしたいという気 持ちがあることを とらえることがで きるよう、上履き 袋に込められた思 いに着目させる</li> </ul>
<p>終末</p>	<p>4. 学習の感想を書く</p> <p>○自分が大切にしている物とその 理由を、家の人にどのように伝え るか考えてみよう</p>	<p>◆自分が使っている物につい て、これまでの生活を振り返り、 物やお金を大切にすること を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習をふりかえら せることで、今後 の生活につなげさ せたい。</li> <li>◎自分が使っている 物に込められた家 族の思いを理解し、 物やお金を大切に しようとするこ とについて自分な りの考えを書いて いる。(ワークシート)</li> </ul>

## 指導案② 第2学年 生活科

# 「ふ小マーケットをしようかいしよう」

### 1. 教材について

単元名 明石リーフレットをつくろう

・啓林館 『いきいき せいかつ 下』

「もっと 知りたい たんけんたい」「町の すてきを つたえたい」をもとに作成

生活科の単元「明石リーフレットをつくろう」は、町で生活したり働いたりしている人々との関わりを深める活動を通して、町の良さや町の人々の温かさに気づき、町の人々への親しみや愛着をもつとともに、相手に合わせて適切に接したり、安全に生活したりできるようにすることをねらいとする。単元の中心的な活動の町探検においては、店や公共施設を訪問し、インタビューを通して、働く人々の工夫や努力について学んできた。

特別活動「附小マーケット」では、1～6学年の

児童から構成されるなかよし班でお店づくりをし、疑似通貨決済アプリ「学Pay」を使ってお店やさんごっこを行った。お店づくりでは、お客さんに楽しんでもらうための工夫を考え、班の中で自分の役割を果たす姿が見られた。

小単元「ふ小マーケットをしようかいしよう」は、自分たちが運営したお店を紹介する活動を通して、働く人々の工夫や努力、その素晴らしさに気付くことができる教材である。

### 2. 金融教育の系統性

#### D キャリア教育に関する分野

- ・ 勤労の意義とお金の価値を理解する
- ・ 付加価値の創造が経済社会発展の原動力であるため、付加価値を生み出すために人々が努力していることを理解する
- ・ より良い社会を築くために人と協力しながら自分にできることを考え、実行する態度を養う

家の手伝いをする中で役立つ喜びを感じる（1・2年生）  
『わたしにできること』【道徳】  
▶家族の一員として自分にできること  
『ひろがれ えがお』【生活科】  
▶家族のお仕事  
▶家族のために自分にできること

お店の人や働く人の願いを知り、様々な苦労や工夫をしていることに気付く（3・4年生）  
『はたらく人とわたしたちの暮らし』【社会科】  
▶スーパーマーケットの売り場で見られる工夫  
▶販売や生産に関わる人の思いと工夫や努力

産業に従事する人々は、工夫や努力をしてよりよい製品を生み出していることを理解する（5年生）  
『わたしたちの生活と食料生産』【社会科】  
『わたしたちの生活と工業生産』【社会科】  
▶食料生産や工業生産に従事している人々の思いと工夫や努力

働く人々の工夫や努力、素晴らしさに気付く（1・2年生）  
『町の すてき つたえたい』【生活科】  
▶町の人の願い、工夫  
▶町のおすすめ

働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働こうとする（3・4年生）  
『インターネットの落としあな』【道徳】  
▶インターネットショッピングの便利さ  
▶インターネットショッピングの危険性

地域や社会のための活動の存在や内容を知り、または体験することを通じてその意義に気付く（6年生）  
『共に生きる地域での生活』【家庭科】  
▶地域と自分の生活の関わり  
▶地域の人と関わるために自分にできること

自分のタブレットにチャージしたお金を計画的に使おうとする（全学年）  
『附小マーケット』【特活】

### 3. 単元の展開（全 39 時間）

- ・明石の町に出かけよう
- ・町の人にインタビューしよう
- ・明石リーフレットをつくろう
- ・ふ小マーケットをしようかいしよう（4 時間，本時 2/4 時）

### 4. 本時の展開

	学習活動 (○主な発問と・予想される児童の姿)	◆金融教育の視点	・指導上の留意点 ◎評価
導入	<p>1. 本時の学習のめあてをつかむ</p> <p>○町探検でインタビューしたお店や施設では，お客さんや使う人のために，どのような工夫や努力をしていましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明石駅の駅員さんは電車の遅れをすぐに伝えている。</li> <li>・ジェノバラインは安全に運転することを意識している。</li> <li>・図書かんは大人や子どもに合わせてたなの上下でおく本をかえている。</li> </ul> <p>○附小マーケットのお店で，お客さんに楽しんでもらうための工夫や努力を思い出し，附小マーケットを紹介するスライドを作ってみましょう。</p>	<p>◆町たんけんて訪ねた店や施設では，客や利用者のためにさまざまな工夫や努力をしていることを思い出す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習を振り返り，店や施設では客や利用者のためにさまざまな工夫や努力をしていることを想起させる。</li> <li>・附小マーケットの趣旨を板書に示す。</li> <li>・本時と次時とでスライドを完成させることを伝える。</li> </ul>
展開	<p>2. 店の工夫や努力について，店側と客側の双方の視点から考える</p> <p>○お客さんに喜んでもらうためにどのような工夫や努力ができましたか。自分たちの班の写真を見ながら思い出して書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あきないように，もんだいのレベルをだんだんむずかしくするようにした。</li> <li>・ルールせつめいをていねいにした。</li> </ul> <p>○お客さんは，お店にどのような工夫や努力を感じていたと思いますか。アンケートを読みながら書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一生けんめいにえんぎをしていた。</li> <li>・あんないをていねいにしていた。</li> <li>・みじかなぎいりょうでどうぐを作っていた。</li> </ul> <p>3. 店を紹介する写真を選び，選んだ理由を発表する</p> <p>○お店側とお客側の双方を踏まえて，工夫や努力が感じられる写真を選び，選んだ理由を発表しましょう。</p>	<p>◆お店の工夫や努力が付加価値を生み出し，お客さんが「楽しい」「嬉しい」と感じる経験につながっていることに気付かせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア班を基本とした 4 名程度の小グループを作り，近くに座らせる。</li> <li>・児童のロイロノートに資料（写真，学 Pay アンケート）を送り，閲覧できるようにしておく。</li> <li>・お店側とお客側の双方から見た工夫や努力をワークシートに記入させる。お店側については附小マーケットの写真をお客側についてはアンケートを見ながら，記入させるようにする。</li> <li>・ロイロノートの提出箱に，ワークシートの写真と活動写真をつないで提出させる。</li> <li>・提出したものをテレビ画</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「気もちのよいあいさつ」をすることで、おきゃくさんはお店によいんしよをもってくれると思ったから、このしゃしんをえらびました。</li> <li>・この写真にしたのは「コインがふえていくルール」にすることでたっせいかんをかんじてくれたことがわかったからです。</li> <li>・タームごとにやくわり分たんをして、自分のやくわりをはたすことができたことが、くふうやどりよくだと思ったから、このしゃしんをえらびました。</li> </ul>	<p>◆工夫や努力が実るためには、班のメンバーと協力し、自分の役割を果たすことが大切であることに気付かせる。</p>	<p>面に写し、グループの代表に発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表された工夫や努力について、それらをしなかった場合との違いを問いかけ、工夫や努力が「楽しさ」「嬉しさ」につながっていることに焦点化する。また、班のメンバーとの協力や自分の役割を果たすことが工夫や努力の実現につながっていることに気付かせる。</li> </ul>
<p>終末</p>	<p>4. 学習を振り返り、次時への見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○お店の人がどのような工夫や努力をすることで、お客さんは「楽しい」「嬉しい」と感じるができるかについて、今日の学習を振り返りながら考えましょう。</p> </div>	<p>◆お店で働く人は、さまざまな工夫や努力をしていることについて振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お店の工夫や努力という視点から附小マーケットを紹介する写真を選んだことを確認し、学習の振り返りを書かせる。</li> <li>◎お店の工夫や努力、素晴らしさに気付いている。(ワークシート)</li> <li>・次回は、「写真」と「工夫や努力」を1枚のスライドにまとめ、附小マーケットの紹介プレゼンを作っていくことを予告する。</li> </ul>

## 5. 事後検討会での主な意見

- ・2年生での難しさ、附小マーケットからの期間等を考えて、工夫や努力は出るのか不安はあったが、実際の経験を思い出しながら意見を書けていた。
- ・本時の授業は、工夫や努力を抽出して網羅するという点では成功しているが、議論まで行くことを目的としていたなら、分散して終わってしまっていた。ただ、お店とお客の立場について、両方確認するからこそわかることもある。今回の授業では、両方の立場から接客態度についての意見が出ていた。
- ・「期待していた以上のものがあったか」、「コストを払って、この体験をしてよかったか」といった顧客満足度に気付かせていく必要がある。



## 指導案③「インターネットの落としあな」

### 1. 教材について

#### 使用教材

- ・光文書院 『小学 どうとく』4年  
「インターネットの落としあな」
- ・「ネットショッピング・シミュレーター」日本教育情報化振興会（JAPET&CEC）  
[http://www2.japet.or.jp/net-walk/simulation/NS\\_Simulator/index.html](http://www2.japet.or.jp/net-walk/simulation/NS_Simulator/index.html)

本教科書教材は、インターネットでショッピングをする場面において、どのようなことに気を付けてショッピングサイトを選ぶとよいのか、また、どのような基準で購入の判断をすべきかについて考える教材である。この教科書教材をきっかけに、具体的な場面でインターネットショッピングの注意点を考え、実際に購入の判断を行う場を設定する。その方法として、「ネットショッピング・シミュレーター」を用いる。「ネットショッピング・シミュレーター」では、8つのネットショッピングサイトがタブレットの画面上に表示され、それらのアプリから選択してネットショッピングが体験

できるようになっている。各ネットショップで商品をクリックすると、購入へと進んでいくことができ、購入手続きを完了させると、「その後」という表示が出る。「その後」をクリックすることで、自分の選んだ商品が適切に届くかどうか、どういった点に落とし穴があったのか、詳しい解説を読むことができるようになっている。なお、8つのネットショップのうち、1つのショップのみ、正しく商品が届くように設計されている。このシミュレーターを用いることで、具体的にどのようなことに気を付けて購入の判断をするのかを体験的に学ぶことができる。

### 2. 金融教育の系統性

#### C 消費生活・金融トラブル防止に関する分野

- ・自立した消費者として行動するための知識と態度を身に付ける
- ・消費生活に関する情報を収集し適切に活用するための知識と技能を身に付ける

安全や環境に配慮した消費生活の大切さに気付く（4年生）

- 『インターネットの落としあな』【道徳】
- ▶インターネットショッピングの便利さ
- ▶インターネットショッピングの危険性

安全や環境に配慮した消費生活の大切さを理解し、もの選び方や買い方を考える（5年生）

- 『生活を支えるお金と物』【家庭科】
- ▶買い物の仕組み
- ▶商品についている表示やマーク
- ▶環境に配慮した買い物の仕方

情報を適切に活用し、正しく選択する力を身に付ける（5年生）

- 『情報化した社会と産業の発展』【社会科】
- ▶各メディアの特徴
- ▶メディアにおける情報の収集や選別の工夫
- ▶情報被害の問題

安全や環境への配慮などお店側の工夫を理解してお金を使うお店を決めたり、アンケートへの回答をしようとする（全学年）  
『附小マーケット』【特活】

### 3. 単元の展開（全●時間）

※道徳は一年間を通した単元で実施しているため、省略。

### 4. 本時の展開

	学習活動 (○主な発問と・予想される児童の姿)	◆金融教育の視点	・指導上の留意点 ◎評価
導入	<p>1. ネットショッピングについて知っていることを話し合う</p> <p>○ネットショッピングについて知っていることはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さんがよく使っている。</li> <li>・家で買い物ができて便利。</li> <li>・お店で買うよりも安いことがある。</li> </ul>		・
展開	<p>2. 学ペイを使って、買い物をする</p> <p>○「学 Pay」に 3 万円入っています。何円のポケモンカード BOX であれば、購入ようと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この値段は高すぎるな。</li> <li>・こっちのサイトの値段ならさっきよりも安いからお得だと思う。今のうちに買っておこう。</li> <li>・サイトによって値段が大きく違うね。</li> <li>・お得だと思ったけれど、実は公式サイトは 4 倍ほど値段が高かったんだね。</li> </ul> <p>3. ネットショッピング・シュミレーターでネットショッピングでの買い物体験をする</p> <p>○インターネットショッピングでは、どのようなことに気をつければよいのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話番号が書いていないところは怪しい気がするな。</li> <li>・たくさん説明が書いているところは、情報が多くて安心だな。</li> <li>・届いてみたら違うものだったけれど、返品先が書いていないから困るな。</li> </ul>	<p>◆生活設計・家計管理に関する分野（お小遣い、貯蓄）</p> <p>ものやお金の価値を知り、大切にしようとする。</p> <p>◆消費生活・金融トラブル防止に関する分野</p> <p>インターネットショッピングのデメリットや危険性、情報を見極める必要性を知り、適切に判断して行動しようとする。</p>	<p>・オンライン上で値段変動の大きいポケモンカードの BOX を提示し、サイトによる値段の違いに気付かせる。</p> <p>・8 つのネットショップについての情報を見比べられるように提示し、ネットショップで買い物する際の判断基準を考えさせる。</p>

終末	<p>4. ネットショッピングの正しい使い方について話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ネットショッピングで店を選ぶときに気を付けるべき視点がたくさん見つかった。</li><li>・信頼できる店かどうかを十分に調べてから買う必要があるな。</li></ul>		◎インターネットショッピングにおける危険性に気付き、正しい判断基準を持って冷静に判断することの大切さに気付くことができたか。(ワークシート・発言)
----	---	--	---

# 「めざせ！買い物名人」

## 1. 教材について

### 使用教材

- ・開隆堂 『わたしたちの家庭科5・6』  
「生活を支えるお金と物」

本題材は、お金や物は限りがある物であることから消費者の役割についてとらえ、購入する物の選び方や買い方、計画的な使い方について理解し、生活に関わる消費生活をよりよくしようと課題の解決に向けて、取り組むことができるようにする。このことは、持続可能な社会の構築の視点から生活を支え、お金や物についての消費活動を捉えて、お金の使い方や物の購入の仕方や選び方についての課題を設定し、それらの課題についてどのように解決をしていけばよいのか課題解決のための方法を考え、身近な物の購入計画を立てることに適した題材である。本題材の指導に当たっては、日常生活での買い物の仕組みと消費者の役割が分かり、適切な観点に沿って物を選んだり

買ったりすることができるようにする。特に本時指導に当たっては、まず導入段階では、これまでの買い物の経験を想起し、失敗してしまったことに目を向けさせる。買すぎてしまったり、買ったけれども飽きてしまったり、身近な買い物の失敗から、課題を見付け解決策を探すことの動機付けとしたい。展開段階では、教科書からよりよい買い物の仕方を調べる活動を行うと共に、実際の買い物場面を例に、よりよい買い物の仕方について考える。最後に、終末段階では、プリペイドカードや商品券、チャージできるプリペイドカード、通信販売についても、買い物をする際に気を付ける必要があることについて考えさせる。

## 2. 金融教育の系統性

### A 生活設計・家計管理に関する分野

- ・ものやお金には限りがあることを理解し、大切にすることを身に付ける
- ・限られた予算の下で、資金を管理したり意思決定したりしながら、よりよい生活を築こうとする
- ・生活設計の必要性を理解し、計画的にお金を使う態度を身に付ける

ものやお金の価値を知り、大切にしようとする（1年生）

- 『ものや おかねを たいせつに』【道徳】
- ▶物（上靴袋）に込められた思い
  - ▶身の回りの物やお金の大切さ

ものやお金には限りがあることやお金の大切さを理解する（3年生）

- 『はたらく人とわたしたちのくらし』【社会科】
- ▶消費者の願い
  - ▶買い物をする店の選び方や買い物の工夫

ものやお金には限りがあることを理解し、工夫した買い物の仕方やお金のよりよい使い方を考える（5年生）

- 『生活を支えるお金と物』【家庭科】
- ▶買い物をする前に考えておくこと
  - ▶上手な買い物の仕方の工夫

自分のタブレットにチャージしたお金を計画的に使おうとする（全学年）  
『附小マーケット』【特活】

### 3. 単元の展開（全3時間）

- (1) 生活を支えるお金の大切さや計画的な使い方について考える。
- (2) 本時：話し合いをしながら、よりよい買い物の仕方を考える。
- (3) 身の回りの持ち物を見直して、生活にいかしていくことについて考える。

### 4. 本時の展開

	学習活動 (○主な発問と・予想される児童の姿)	◆金融教育の視点	・指導上の留意点 ◎評価
導入	<p>1. 買い物での失敗経験について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○いままでに買い物で「失敗したなあ」と思ったことはないかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買いすぎてしまった</li> <li>・買ったけれどすぐ壊れてしまった</li> <li>・買ったけれどすぐに飽きてしまった</li> </ul> </div>		<p>・家族での買い物の経験や、自分が買ってもらった物の経験などから失敗談を考えさせる。</p>
展開	<p>2. 本時の学習課題を把握する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>よりよい買い物の仕方について調べよう</p> </div> <p>3. よりよい買い物の仕方について調べる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○教科書から、よりよい買い物の仕方について調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本当に必要かどうか考える</li> <li>・買う場合は、情報を集めて品物を選ぶ</li> <li>・お金が足りなければ条件が整ったら買う</li> </ul> </div> <p>4. 買い物場面を例に、よりよい買い物の仕方について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○新しいノートが必要になり、文房具店に買い物に来たところ、店内では、今流行のペンケースを「本日限り、半額」と安売りしている。クラスの友だちももっている子どもが増えているペンケースである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買わない。欲しいけれどおだづかいになる</li> <li>・他の店ではもっと安いかもしれない。</li> <li>・今の筆箱は壊れそう。ちょうど新しい物を探していたから買う。</li> </ul> </div>	<p>◆<b>金銭の価値認識と有効な活用</b> 無計画な買い物やおだ遣いの実態を見直し、計画的かつ有効に使うことが大切であることが分かる。</p> <p>◆<b>意思決定</b> 友だちの様々な考え方を知り、自分の考えをもつことができる。</p>	<p>・情報という言葉を用いて、購入する前に情報を集めることの大切さをまとめる。</p> <p>・必要性の判断については、「必要」「必要でない」だけでなく、趣味や余暇など「必要でないが欲しい」こともあることに触れ、必要な物の購入を優先した上で、家族で話し合っただけで考えることの大切さに気付かせる。</p> <p>◎消費者の役割について理解している。 (知識・技能)</p>

終末	<p>5. いろいろな買い物の仕方を想起し、買い物をするとき気を付けることを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">       現金以外での買い物の方法（スマホ決済、ICカード、インターネット販売）で、気を付けることはあるかな？     </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使いすぎないようにする</li> <li>・本当に必要かどうか考える</li> <li>・情報を集めて品物を選ぶ</li> </ul>	<p>◆主体的判断</p> <p>どのようにすればより適切なのか、自分なりに考えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・附小マーケットで活用した「学ペイ」についても紹介し、電子マネーを活用した経験を想起させる。</li> <li>◎物や金銭の計画的な使い方について理解している。（知識・技能）</li> </ul>
----	---	--	---

## 5. 事後検討会での主な意見

- ・学習活動4において、買い物場面を例に、よりよい買い物の仕方について考える際に、「家庭科として適した行動」としてまとめるとよい。
- ・学習活動4において、「家庭科として適した行動」をまとめたうえで、学習活動5で「電子マネーの場合はどうか」考えさせると、本当に必要かどうか、計画的な使い方になっているか、より考える必要があることに気づくことができるのではないかな。
- ・学習活動5は、現金以外での買い物方法とすると、商品券やクーポン、株主優待券など幅広い意見がでていた。電子決済（スマホ決済やICカード）に限定して考えた方がよいのではないかな。その場合チャージやクレジットカードなどシステムの共通理解をはかったうえで話し合うとよい。

# 「共に生きる地域・社会を創ろう」

## 1. 教材について

### 使用教材

- ・「税金のない世界」富山県租税教育推進協議会
- ・「みんなで話し合って街を作ろう！」大阪国税局

本題材では、住みよいまちづくりは「命」「人との関わり」「文化」「自然」の視点で国や自治体と住民の双方からの働きかけで達成されることに気づき、住みよいまちづくりに主体的に取り組むことができるようにする。特に本教材は住みよいまちづくりについて考える上で、私たちが負担する税金は、人々の生活を支え、住民の願いを実現させるために使われていることを理解し、限りある税金だからこそ有効な利用方法を考え、適切に運用されなければならないことを実感するのに適した教材と言える。

指導にあたって本時では、税金のあるまちと税金のないまちを比べ、税金を使った公的サービスが私たちの生活に必要な不可欠であることに気付かせる。まちづくりに必要な視点を話し合うことで、

前述の「命」「人との関わり」「文化」「自然」の視点の全てが、バランスよく提供されなければならないことにも注目をさせる。その上で、住みよいまちづくりをシミュレーションする活動を取り入れることで、税金の有効的な活用について深く思考し、よりよいまちづくりに参画する意識を醸成することができる。まちづくりのシミュレーションにおいては、使用できる税金の上限が設定され、予算を上げようとするれば、負担する税が増える仕組みとなっている。税金は限りがあるため、税金を負担する私たちも有効な利用について用途や効果を考える必要性を感じることで、主体的にまちづくりに取り組む姿勢を育むことができる。

## 2. 金融教育の系統性

### D キャリア教育に関する分野

- ・勤労の意義とお金の価値を理解する
- ・付加価値の創造が経済社会発展の原動力であるため、付加価値を生み出すために人々が努力していることを理解する
- ・より良い社会を築くために人と協力しながら自分にできることを考え、実行する態度を養う

家の手伝いをすることで役立ち喜びを感じる（1・2年生）  
『わたしにできること』【道徳】  
▶家族の一員として自分にできること  
『ひろがれ えがお』【生活科】  
▶家族のお仕事  
▶家族のために自分にできること

お店の人や働く人の願いを知り、様々な苦労や工夫をしていることに気付く（3・4年生）  
『はたらく人とわたしたちの暮らし』【社会科】  
▶スーパーマーケットの売り場で見られる工夫  
▶販売や生産に関わる人の思いと工夫や努力

産業に従事する人々は、工夫や努力をしてよりよい製品を生み出していることを理解する（5年生）  
『わたしたちの生活と食料生産』【社会科】  
『わたしたちの生活と工業生産』【社会科】  
▶食料生産や工業生産に従事している人々の思いと工夫や努力

働く人々の工夫や努力、素晴らしさに気付く（1・2年生）  
『町の すてき つたえたい』【生活科】  
▶町の人の願い、工夫  
▶町のおすすめ

働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働こうとする（3・4年生）  
『インターネットの落としあな』【道徳】  
▶インターネットショッピングの便利さ  
▶インターネットショッピングの危険性

地域や社会のための活動の存在や内容を知り、または体験することを通じてその意義に気付く（6年生）  
『共に生きる地域での生活』【家庭科】  
▶地域と自分の生活の関わり  
▶地域の人と関わるために自分にできること

自分のタブレットにチャージしたお金を計画的に使おうとする（全学年）  
『附小マーケット』【特活】

### 3. 単元の展開（全4時間）

- (1) 本時：住みよいまちに必要な視点について考える。
- (2) 住みよいまちづくりにむけて、わたしたちにできることを考える。
- (3) 住みよいまちづくりにむけて、自分自身にできることを計画し、実行する。
- (4) 住みよいまちづくりについて実行したことを振り返り、生活にいかせることを考える。

### 4. 本時の展開

	学習活動 (○主な発問と・予想される児童の姿)	◆金融教育の視点	・指導上の留意点 ◎評価
導入	<p>1. 地域・社会のかかえる問題について考え、問題を解決するために必要な視点を考える。</p> <p>○どうしてこのようなまちになってしまったのか、このまちの抱える問題点を考えましょう。</p> <p>(社会による問題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防隊がない ・ゴミの回収がない</li> <li>・警察がない</li> </ul> <p>(人による問題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝手にごみをすてている ・事故を起こす</li> <li>・犯罪をする人がいる</li> </ul>	<p>◆住みよいまちには、地域や社会のための施設や活動があることに気付かせる。</p>	<p>(資料) <a href="http://pref.toyama.jp">税金のない世界   富山県租税教育推進協議会 (pref.toyama.jp)</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの抱える課題を自由に挙げることで、住みよいまちづくりに必要な条件を考えさせる。</li> <li>・課題が解決された町の様子を提示することで、問題点に着目できるようにする。</li> <li>・まちの抱える問題を「命」「人との関わり」「文化」「自然」の視点から整理できるように気付かせるために、発表したまちの問題点をラベリングし、類似する内容を見つけるように伝える。</li> <li>・板書を指しながら「この中で、町の人がしている良くない点はどれ」と発問することで、まちの抱える問題には、人による問題と、社会による問題に分けられることを理解させる。</li> </ul>
展開	<p>2. 住みよいまちについて考える。</p> <p>○班の中で「命」の視点からの住みよいまち「人との関わり」の視点からの住みよいまち、「文化」の視点からの住みよいまち、「自然」の視点からの住みよいまちについて考えてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化が発展するには、教育施設が必要。</li> <li>・命を守るためにみんなが利用しやすいところに病院が必要だ。</li> </ul>	<p>◆まちづくりには、限られた資源（お金・もの）を有効に活用する視点が必要なことを捉えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="http://nta.go.jp">みんなで話し合っって街をつくらう！   大阪国税局 (nta.go.jp)のサイト</a>を使って「命」「人との関わり」「文化」「自然」の各視点から、住みよいまちについて考えさせるようにする。</li> <li>・ 班の中で「命」「人との関わり」「文化」「自然」の視点を分担してまちづくりに取り組ませること</li> </ul>



			<p>で、それぞれの視点に合ったまちがどのようなまちなのか焦点化して考えさせるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算の条件を設定することで、まちづくりには限られた予算を有効に使う必要があることに気付かせる。</li> <li>・予算を超えた場合は、他の施設と入れ替える方法をとることを伝える。</li> </ul>
	<p>3. 班の中で、作ったまちについて意図を交流する。</p> <p>○作ったまちについて、班の中で交流しましょう。その時に、なぜその場所に施設を置いたのかを理由を伝えましょう。質問やアドバイスがあれば聞いていた人も伝えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの中心に博物館と動物園、植物園を置くことで多くの人を利用しやすくなりました。そうすることで、お年寄りから子供まで多くの人が集まります。</li> <li>・警察と消防、病院を同じ場所に置きました。そうすることで、事件や事故に連携して対応することが出来ます。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・班での交流の後に、一事例をとりあげてまちづくりの意図について発表させる。「住む人のどんな人の行動につながると思えますか。」と発問する。そうすることで、社会による問題を解決することが人による問題を解決することを再確認できるようにする。</li> <li>◎住みよいまちづくりには、社会の働きと個人の働きの双方からのアプローチが必要なことを理解している。(知識・技能)</li> </ul>
終末	4. ふりかえりを書く。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の振り返りをするために、ワークシートを用意する。</li> </ul>

## 5. 事後検討会での主な意見

- ・導入において、まちづくりの視点を指導者が事前に提示してから問題について話し合うことで、住みよいまちづくりの条件を簡潔に整理できるのではないかな。
- ・「文化」の視点は資料から見出しにくいので、提示の方法を工夫する必要があるのではないかな。
- ・まちづくりの予算や税の負担について取り上げることで、限りある資源をいかに有効に使うかを金融教育の視点で議論することができるとは思えないかな。
- ・自分が考えたまちについて交流する時間を確保するため、導入の問題点に着目する活動では、資料を比較したり、資料に書き込んだり、発言の仕方を工夫するなどの手立てが必要ではないかな。
- ・情報機器を活用したまちづくりに時間がかかりすぎてしまうので、まちづくりのスペースがもっと小規模である方が適当だった。
- ・まちづくりの視点を一つに絞るのではなく、多様な視点を入れたまちを個人でつくった上で、順位づけをすることで、実際のまちづくりと同様の視点をもって考えられるのではないかな。